

福祉くろべ 10月 2014



編集・発行 社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会 平成26年10月1日発行

この広報誌は一部共同募金の助成金により発行されています。

うなづき

[場所] 黒部市宇奈月老人福祉センター

介護予防通所事業 生き生き倶楽部

時間/9:30~15:00
参加無料!
対象/65歳以上の方



※■は休館日

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1	2 自力整体 香りの湯	3 健康体操	4
5 ヤンバイ 映画館	6 自力整体 香りの湯	7 自力整体 香りの湯	8	9 体操	10 体操	11
12	13	14 体操	15	16	17	18
19 ヤンバイ 映画館	20 健康体操	21 健康体操	22	23 健康体操	24 健康体操	25
26 ヤ映	27 新川荘	28 新川荘	29	30 新川荘	31 新川荘	1

時間/10:00~ 自力整体・・・稲田 清美先生
健康体操・・・村田あゆみ先生(3日)
・・・岡崎 明子先生(20・21・23・24日)



体を動かして認知症を予防しましょう

運動は健康寿命を延ばす様々な効果があり、認知症の予防にも有効です。特に有酸素運動はケガをしにくく、おすすめです。無理は禁物ですが、毎日または少なくとも2日に1度、20~60分程度の有酸素運動を行いましょ。

オススメ! ウォーキング(水中もおすすめです)・水泳・ハイキングの運動

お問い合わせは黒部市宇奈月老人福祉センター
担当:広浜 まで TEL.(0765)65-1820

福祉・ボランティアに関することは

黒部市社会福祉協議会
http://www.kurobesw.com/

●本所 黒部市福祉センター内
〒938-0022 黒部市金屋464-1
TEL.(0765)54-1082(代表) FAX.(0765)52-2797
TEL.(0765)57-1089(ケアセンター・ホームヘルプセンター)
Eメール kurobesw@ma.mrr.jp

●宇奈月支所 黒部市宇奈月老人福祉センター内
〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山2111
TEL・FAX.(0765)65-9533
Eメール u-shakyo@ma.mrr.jp

くろべ

[場所] 黒部市福祉センター

介護予防のための 元気はつらつ体操教室

時間/10:00~11:00
参加費/300円(入館料のみ)
対象/65歳以上の方



※■は休館日

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1	2	3	4
5	6	7 音楽療法	8 健康体操	9	10 ストレッチ	11
12	13	14 アロマ・ヨガ	15 音楽療法	16 アロマ・ヨガ	17 音楽療法	18
19	20	21	22	23 音楽療法	24 アロマ・ヨガ	25
26	27	28	29 アロマ・ヨガ	30	31	1

時間/10:00~ 健康体操・・・牧野 和子先生
アロマ・ヨガ・・・村田あゆみ先生
ストレッチ・・・仁科 在重先生
音楽療法・・・畠山 悦子先生



編集後記

紙面をリニューアルして10回目の福祉くろべができました。感想をいただく機会も増え、とっても嬉しく思っています。様々なところへ取材にうかがうと、地域の知られざる裏方さんにたくさん出会います。お一人おひとりの思いや行動をこれからもご紹介したいと考えています。

編集 中野



[黒部市の人口] 41,948人 [65歳以上の人口] 12,179人 高齢化率 28.9%
H26.9.1 現在(外国人を除く)

特集 「子ども福祉くろべの舞台裏 -こうして子どもたちは記者になった-

地域の今を届ける密着レポート/115人の子どもたちがつくる赤い羽根の募金箱
地域の動きを写真で紹介/災害救援ボランティアセンター設置訓練
連載/ふくしまイル・ワーカー etc.

今月の表紙 美しい黒部の夜空——満月の夜に東布施から撮影した星空

特集

子ども

福祉くろべの舞台裏

—こうして子どもたちは記者になった—



子ども記者誕生!

福祉くろべ9月号に入っていた、何とも可愛い表紙を覚えていますか? 中を開けば子どもらしい視点で今の地域が抱える問題にスポットライトがあたっていました。いったい、どうやってあんな素晴らしいものができたのか! 大人たちが大いに手伝ったんじゃないのか! ゴーストライターがいたんじゃないか! そんな皆さんの疑問を払うべく、

今月の特集では子ども福祉くろべの舞台裏を大公開!



福祉くろべ8月号で、子ども記者を募集したところ、前沢小学校5年生の4人が応募してくれました。同じクラスの女子ということもあって、最初からチームワークは抜群! かと思いきや、知らない大人たちに囲まれて少し緊張気味。その姿を見た大人スタッフが気を遣いすぎて悪循環、そんなどこにでもあるような滑り出しでした。

大人でもすぐに広報誌なんて作ることはできませんから、子どもたちにとっても、もちろん簡単ではありません。そこで、実際に作る前にいくつかのことを勉強しながら、少しずつ作っていくことにしました。最初はタイトルにある「福祉」の勉強です。NPO法人明日育の長井一浩常務理事が「福祉」という言葉の意味を「ふだんのく

しをしあわせに」という具合にかみくだき(これには大人も拍手!)、わかりやすく説明してくださいました。また、カードゲームを使って助け合いを疑似体験。「自分の困りごとを誰かが手伝う。誰かの困りごとを自分が手伝う。両方の立場に立ってみると、どちらも嬉しく感じるのがわかります。そういう感覚から福祉を理解してもらえれば」と長井さんは話します。

度を超える猛暑日。まったく気にしてなさそうな子どもたちと、明らかに歩きたくなさそうな大人たちの姿が印象的でした。そして歩いてみると...やはり事件は現場で起こっていたのです。子どもたちの通学路には大量の吸い殻や空き缶やゴミが捨てられているのではないですか。それを1つひとつ拾いながら歩く小学生はキラキラしていました。そして一緒にゴミを捨てている大人たちはドロドロに溶けそうになっていました。

「汗をかいた分だけいい記事ができる」という格言があるかどうかはわかりませんが、とにかく現場に行かなくてははじまりません。しかしこの日の最高気温は35

子どもたちにしか、見えないものがある

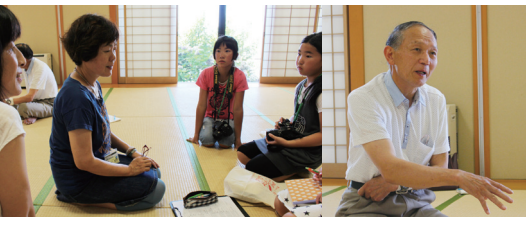
「汗をかいた分だけいい記事ができる」という格言があるかどうかはわかりませんが、とにかく現場に行かなくてははじまりません。しかしこの日の最高気温は35



炎天下のなか通学路のゴミを拾いながら調査。証拠写真もバッチリ。

そのあと、インタビュアーのため前沢公民館に行く、たまたま前沢自治振興会の舟子忠明会長がおられ、ポイ捨てについて聞かれた

会長は「普段の移動は自動車中心で歩道を歩かないため、これほどたくさんタバコの吸い殻が落ちていくことはあまり知りませんでした。毎日の登下校で歩いている小学生だからこそ敏感に気付くことだと思います。ペットボトルやタバコなどのゴミは、地域住民だけが捨てているとは考えにくく、どこの誰が捨てているかわかりません。ポイ捨てしない意識を高めるには、黒部市全体で取り組むことが大切だと思っています」と話され、子どもたちの気付きと行動力を褒めてくださいました。



舟子会長と黒川主事の話真剣に聞く子ども記者のみんな。

「前沢小学校の霜野成巳教諭は、「自分が暮らす地域に関心を持つことは非常に大事なことです。4年生の社会科では、10月に『前沢めぐり』といって十二貫野用水や宮野山の流水客土(※1)の歴史について学びます。郷土について学んでいたことが、参加した理由の1つかもしれないですね」と、



取材したことはしっかりノートに書き留めます。

※1「流水客土(りゅうすいきゃくど)とは: 赤土を水に溶かして用水に流し水田まで運ぶという工法。黒部川扇状地は保水力に乏しく米づくりに不向きな砂質の土壌だったため、土質を改良しようと、赤土が多く保水力が高い粘土質の土を山から水庄ポンプで削り水田に運び入れた。宮野山は昭和26年に日本で初めて実施された場所の1つ。



同じクラスの仲良し4人組。記事づくりはみんなで協力!

子ども記者の感想

子どもたちとともに、
地域を良くしていく
ことができる

子ども福祉くろべの舞台裏、
かがでしたか。大人が手伝うど
ろか、大人が勉強させられっぱ
なだったことが、おわかりいた
けたかと思えます。大人は子ど
もをついつい「子ども扱い」し
てまいがちです。でも、子ども
福祉くろべの記事づくりで、子
どもたちが大人には見つける
ことができなかったポイントで
した。そして、地域にとつて、
とても大切なことだったと思
います。大人たちはすぐに大
げなことを考えてしまいます。
子どもたちの素直でまっすぐ
な視点を大人たちが上手に取
り入れることで、地域はもつと
良くなると思います。大人たち
が上手に相手をしつかりイン
タビューしている姿を見て、こ
れからの黒部を担う子ども
たちが自分たちの住む地域や
人のことを考えていることを
心強く感じました。

かわた みやび
川田 雅さん

好きなこと・・・お菓子作り

取材記者をして、とても大
変だと思いました。毎回福祉
くろべを作っているなんて、
そうとう大変なんだとわか
りました。タバコの吸い殻が
100個以上落ちていたの
で、これから無くしていく努
力をしないとといけないと思
います。



このかわあおい
此川 葵さん

好きなこと・・・読書、ピアノ

今まで体験したことがない
ことも体験できて楽しかった
です。学校の授業などで取材
に行くときは、この体験をい
かしたいと思いました。



はせ ゆうり
長谷 悠莉さん

好きなこと・・・絵をかくこと

インタビューは緊張した
けど、絵や文章をかいたりイ
ラストを切ったりはり付け
たりしたのは楽しかったで
す。いい体験になったと思
いました。



ばんじょう ゆめ
番匠 由芽さん

好きなこと・・・クロスワード

取材活動をしたり記事を
かくのは楽しかったです。写
真をはったり絵をかくのが
特に楽しかったです。インタ
ビューをするのは難し
かつたけど、いい経験になり
ました。先生にすすめられて
、やって良かったと思いま
した。



黒部が一望できる宮野運動公園で表紙のモデル撮影を行いました。



活動レポート 1

子どもたちが
個性あふれる募金箱をつくりました
赤い羽根の
募金箱をつくらう！



pick up! / 親子で相談しながら
楽しく作りあげました



8月11日(月)、黒部市福祉セン
ターにて「赤い羽根共同募金の募
金箱をつくらう教室」を開催しま
した。今年は昨年度の参加人数を
上回り、115名の子どもたちが
それぞれ個性あふれる募金箱を
作ってくれました。
募金箱を作り始める前には共同
募金の仕組みについての説明を受
け、赤い羽根共同募金の助成団体
である「日本語教室 in 黒部」「黒部
市手をつなぐ育成会」「黒部市民生
委員児童委員協議会」の代表者が
「ありがとう運動」を行いました。
これは、それぞれの団体の紹介だ
けではなく、共同募金のお金がそ
れぞれの団体でどのように使われ
ているかということを説明し、多く
の方々の募金活動によって支えら
れていることに感謝の気持ちを伝
える運動です。
こうした助成団体の活動を通し
て、住民との「顔の見える関係づく
り」を目指しています。
子どもたちの作った募金箱は、
10月12日まで市福祉センターで展
示する予定です。みなさんも、ぜひ
見に来てください。

活動レポート 2

「誰でもできるチラシ講座」
チラシづくりの極意を学び、
地域活動に活かす



pick up! / まずは手書きでチラシの
イメージをつくりました

8月21日(木)に桜井高校のコンピュー
ター実習室で行いました。
講師にお招きした株式会社ミツイのクリ
イティブディレクター三井陽一郎氏は「チ
ラシ作成前にはまず情報を整理し、読み手
の立場になり魅力的な情報は何か考え選
ぶことが大切」と話しました。参加した福
祉関係者は、気軽に高校生にサポートをお
願いするなど楽しく学びました。

来て見てヤンバイ映画館

開催時間:13:30から 入場無料

10月7日(火) 「島田洋七の佐賀のがばいばあちゃん」
出演:香山 美子 高島 礼子
場所 三日市公民館

10月14日(火) 「たそがれ清兵衛」
出演:真田 広之 宮沢 りえ
場所 大布施公民館

10月28日(火) 「喜劇 一発勝負」
出演:ハナ 肇 倍賞 千恵子
場所 山田公民館(前次)

今月の相談日

民生委員児童委員と心配ごと相談
行政相談員と行政相談 **ご予約不要**

黒部市福祉センター 10月14日(火) 13:30~15:30

黒部市立中央公民館 10月 9日(木) 13:30~15:30
(宇奈月町浦山2100-2)

弁護士と法律相談 **予約受付10月1日より**

黒部市福祉センター 10月21日(火) 13:30~15:30

富山県東部生活自立支援センター巡回相談 **ご予約不要**

黒部市福祉センター 10月6日・20日(月)
13:30~15:00

催し物と休館日のご案内

黒部市福祉センター 利用時間/ 8:30~16:30

10月の催し物

11日(土)	小扇会 歌と舞踊発表会	11:30~
21日(火)	黒部市老連歌謡サークル	10:30~
25日(土)	華の会歌謡ショー	10:30~
26日(日)	入善町つくし歌謡会歌サークル発表会	10:30~
30日(木)	春雨歌謡会 カラオケ発表会	10:30~

休館日 毎週月曜日(6日・13日・20日・27日)

じぶんの町を良くするしくみ。 赤い羽根共同募金



募っているのは、 やさしさなんだと思う。

10月1日から12月31日までの3ヶ月間は赤い羽根共同募金の運動期間です。黒部で集まったこの募金の約70%は黒部の町をよくしようとがんばっている団体へ助成され、30%は県内の広域で活動する団体や施設の改修、備品整備などに活用されます。つまり、赤い羽根共同募金はじぶんの町を応援する地域の活動なのです。



11月の催し物

1日(土)	歌謡パラダイスふれあいショー	10:30~
8日(土)	日本海歌謡研究会 歌と踊りの祭典	10:30~
9日(日)	北川歌謡ショー	10:30~
15日(土)	YKK社友会歌謡同好会発表会	10:30~
22日(土)	フラサークル・イリマ フラダンス	11:00~
23日(日)	こぶしカラオケ愛好会 発表会	10:30~

休館日 毎週月曜日(3日・10日・17日・24日)

今月のクラブ



囲碁・将棋クラブ

毎週金曜日(3日・10日・17日・24日・31日)



元気カラオケクラブ/健康麻雀クラブ

9日(木)・23日(木)

今月の湯

入浴時間 10:00~16:00

- 10月 1日(水)~ 5日(日).....巨峰の湯
- 10月 7日(火)~12日(日).....南国シークワーサの湯
- 10月14日(火)~19日(日).....海洋深層水風呂
- 10月21日(火)~26日(日).....レモン・ライムバスの湯
- 10月28日(火)~31日(金).....巨峰の湯

誕生日のお祝いに

センターの入浴券はいかがですか?

11枚綴り 3,000円

町内の会合や趣味の集まりに、黒部市福祉センターをご利用ください



9月7日(日)ー黒部市総合公園

災害救援 ボランティアセンター 設置訓練で役割を確認

災害が発生したことを想定し、災害ボランティアの依頼や活動を調整する役割を担う災害救援ボランティアセンターの設置訓練を行いました。

写真レポート

富山県総合防災訓練として

ふくし スマイル ワーカー

スマイル
Vol.10



デイサービス いろは
社会福祉主事

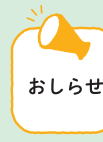
黒田 智美さん(27歳)

介護が必要な方々が
日中、快適に過ごせるようお手伝い

介護の仕事の間近で見て、 人の役に立ちたいと思いました。

祖母の入所で特別養護法人ホームを訪れたのが高校生の時。介護の仕事の間近で見ううちに「このような職業があることを初めて知り、社会福祉に興味を持ち、人の役に立ちたいと思うようになりました」と話す黒田さん。取材中も常に利用者の方々の様子に気を配り、少しの表情の変化にもすばやく気付き対応していました。

デイサービスいろはのモットーは“家庭的なあなたたかさ”。「家庭のぬくもりが感じられ一日を楽しく過ごしていただけるよう心がけています」と、優しく話してくれました。



おしらせ

専門資格を持った 職員を募集します

募集人数
7名

募集
職種

- ケアマネジャー(臨時職員) 1名
- ホームヘルパー(正職員) 1名
- 登録ホームヘルパー(臨時職員) 5名

※6ヶ月の臨時職員契約後、試験により正職員採用あり

試験

申込者に対し事前説明の上で、
随時試験を実施します。
試験内容:書類審査、面接試験

必要
書類

1. 履歴書
2. 最終学校の卒業証明書
3. 免許、その他資格証明書の写し

受付
期間

採用者が決まり次第終了します。

募集要項の詳細は

黒部市社会福祉協議会までお問い合わせください。
<http://www.kurobesw.com/>でもご案内しています。

[受付時間] 月~金曜日 8:30~17:00

[受付]

黒部市社会福祉協議会 総務課:小柴まで(TEL.54-1082)
※郵便による受付はできません。家族の代理は可能です。

地域福祉の
ために

黒部市社会福祉協議会に
寄付をいただきました。
ありがとうございました。

- 黒部市傷痍軍人会 様
- 黒部市傷痍軍人妻の会 様